

公開講座の開設主旨・目的等

本公開講座は、古文書読解スキルを既に一定程度持っている方を対象に、さらに専門的な技術を身につけてもらうことを目的として開講するものである(神戸大学の学生である場合には、初学者も歓迎する)。

教材に用いる古文書は、神戸大学経済経営研究所が所蔵する「廣岡家文書」である。廣岡家(加島屋久右衛門)は、NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」でモデルとなった大坂豪商で、様々な大名の資金繰りを支えたほか、江戸幕府の経済政策も資金面、知識面で支えた重要な商家である。

本公開講座では、廣岡家が活躍した江戸時代の大坂市場について講師が解説し(第1回)、それを踏まえた上で、大名との借財交渉の生々しいやりとりを伝える史料を使った実習(第2回)、そして廣岡家を押しも押されぬ豪商へと成長させた中興の祖・4代目加島屋久右衛門の遺言状を使った実習(第3回)を予定している。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	9月13日	13:30～15:00	①導入講義—江戸時代経済の中核・大坂市場—	高槻泰郎 神戸大学経済経営研究所
2	9月20日	13:30～15:00	②「廣岡家文書」に見る大坂豪商の世界—大名金融の現場—	高槻泰郎 神戸大学経済経営研究所
3	9月27日	13:30～15:00	③「廣岡家文書」に見る大坂豪商の世界—中興の祖・四代加久の遺言状—	高槻泰郎 神戸大学経済経営研究所

連絡先

神戸大学経済経営研究所 古文書読解講座担当

E-mail : tj-assistant@rieb.kobe-u.ac.jp

※メールアドレスの一部(ac.jpの前など)には、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されております。メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。